

2009年3月期

第2四半期決算説明会

2008年11月7日

伊藤忠商事株式会社

代表取締役社長 小林栄三

1. 決算概況 (1-2Q累計)

2. セグメント別情報 (1-2Q累計・年間見通し)

3. 2008年度年間見通しサマリー

4. Frontier+ 2008 重要施策 (LINEs・海外事業損益・投資計画)

5. 補足資料 (四半期業績推移)

経営成績サマリー



- ✓ 当期純利益は前年同期比222億円増益となる1,392億円。
- ✓ 第2四半期累計利益として4期連続となる過去最高益の更新。

	2008年度 1-2Q累計	2007年度 1-2Q累計	増減	2008年度 期初計画	進捗率
売上総利益	5,422	4,913	+ 508	11,000	49%
営業利益	1,643	1,332	+ 311	3,300	50%
税引前利益	1,694	1,447	+ 247	3,200	53%
持分法投資損益	349	504	△155	640	55%
当期純利益	1,392	1,170	+ 222	2,400	58%
実態利益	2,150	1,817	+ 333	3,890	55%
事業会社損益	1,074	818	+ 256		
海外事業損益	818	529	+ 289		

(※単位:億円)

セグメント別純利益



- ✓ 金属・エネルギーで前年同期比大幅増益。
- ✓ 繊維・食料・生活資材の合計である生活消費関連分野で100億円を超える増益。

	2008年度 1-2Q累計	2007年度 1-2Q累計	増減	2008年度 期初計画	進捗率
繊維	132	72	+ 60	220	60%
機械	37	165	△128	230	16%
宇宙・情報・マルチメディア	19	46	△ 27	170	11%
金属・エネルギー	864	498	+ 366	1,280	68%
生活資材・化学品	132	105	+ 28	220	60%
食料	124	111	+ 13	220	56%
金融・不動産・保険・物流	66	145	△ 78	130	51%
その他及び修正消去	17	29	△ 12	△ 70	—
当期純利益	1,392	1,170	+ 222	2,400	58%

(※単位:億円)

財政状態及びキャッシュ・フロー



財政状態

	2008年度 2Q末	2007年度 年度末	増減
総資産	54,512	52,554	+ 1,958
ネット有利子負債	17,112	16,545	+ 566
株主資本	10,222	9,785	+ 437
ネットDER	1.7倍	1.7倍	同水準

キャッシュ・フロー

	2008年度 1-2Q累計	2007年度 1-2Q累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	639	166	+ 473
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,164	△ 921	△ 242
財務活動によるキャッシュ・フロー	140	△ 1,079	+ 1,219

(※単位:億円)

1. 決算概況 (1-2Q累計)

2. セグメント別情報
(1-2Q累計・年間見通し)

3. 2008年度年間見通しサマリー

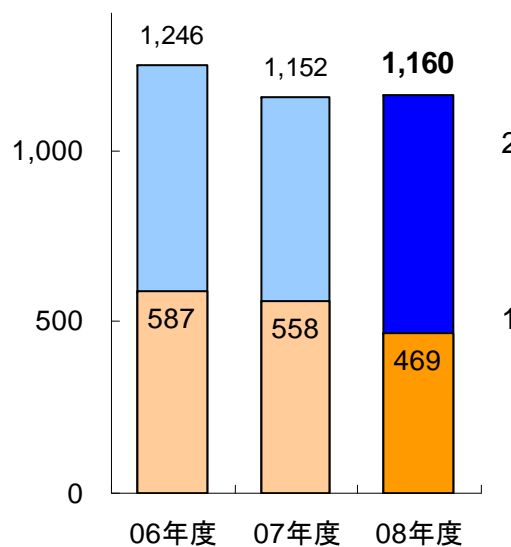
4. Frontier+ 2008 重要施策
(LINEs・海外事業損益・投資計画)

5. 補足資料 (四半期業績推移)

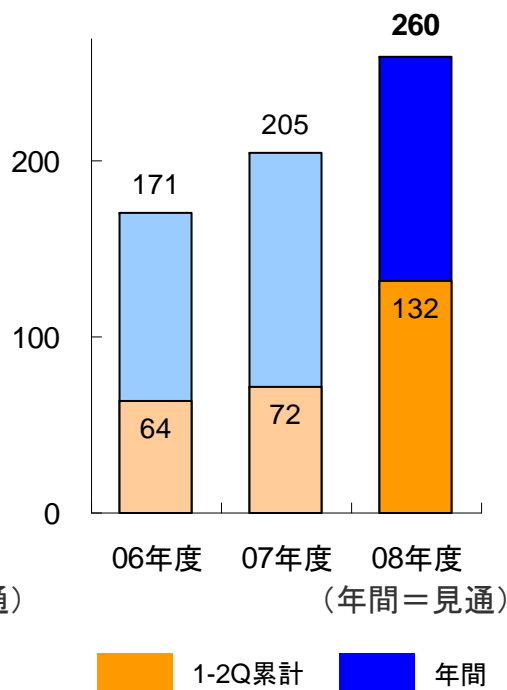
セグメント別情報：繊維



売上総利益



当期純利益



1-2Q累計決算概略

【1-2Q累計】

複数の子会社が連結除外になったこと等により売上総利益は減少するも、新規関連会社の連結に加え、投資有価証券損益の大幅好転等により純利益は増益。

【年間】

投資有価証券損益の好転、新規投資の効果等により純利益は前年比大幅増益見込み。

主要事業会社損益

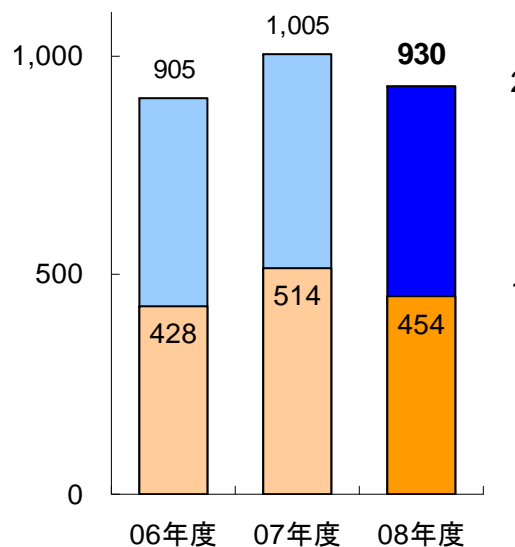
	1-2Q累計		年間	
	(07)	(08)	(07)	(08)
ジョイックスコーポレーション	1	△1	9	8
Prominent Apparel	3	3	6	6
伊藤忠繊維貿易(中国)有限公司	4	3	9	10

(※単位:億円)

セグメント別情報：機械

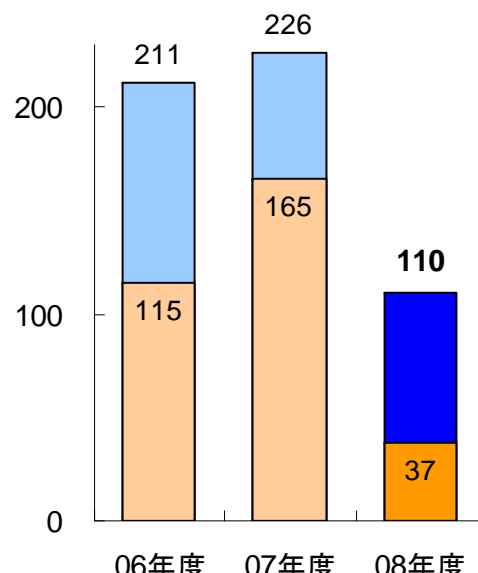


売上総利益



(年間=見通)

当期純利益



(年間=見通)

■ 1-2Q累計 ■ 年間

1-2Q累計決算概略

【1-2Q累計】

欧州、新興国向け自動車取引、船舶取引は好調に推移するも、北米市場低迷による自動車・建機事業不調、上場株式の減損、モンゴル向け債権に係わる貸倒引当金の繰入等もあり純利益は大幅減益。

【年間】

先進国における自動車・建機の販売減速、モンゴル向け債権に係わる貸倒引当金の繰入等により純利益は前年比大幅減益見込み。

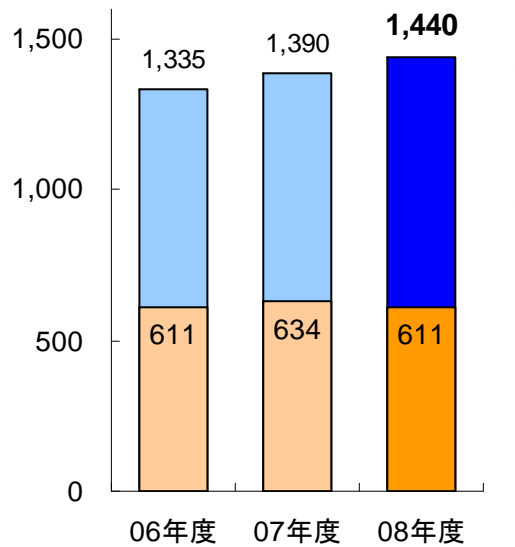
主要事業会社取込損益

	1-2Q累計		年間	
	(07)	(08)	(07)	(08)
ITOCHU Automobile America	8	△3	6	△5
MCL Group	0	△2	△26	△14
伊藤忠建機	6	4	8	8
伊藤忠産機	2	1	4	4

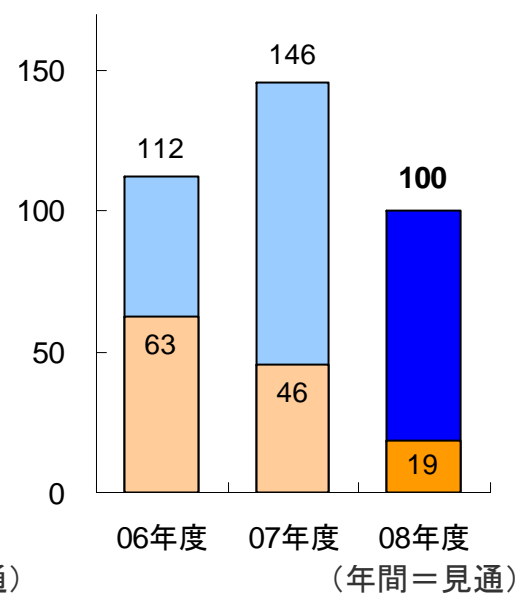
(※単位:億円)

セグメント別情報：宇宙・情報・マルチメディア

売上総利益



当期純利益



■ 1-2Q累計 ■ 年間

1-2Q累計決算概略

【1-2Q累計】

情報産業関連事業における利益の減少、前年同期の投資有価証券売却益の反動等により減益。

【年間】

情報産業関連事業の利益拡大を下期に見込むも、経費等の増加により純利益は前年比減益見込み。

主要事業会社取込損益

	1-2Q累計		年間	
	(07)	(08)	(07)	(08)
伊藤忠テクノソリューションズ*	26	**	81	70*
アイ・ティー・シーネットワーク	9	6	17	15*
スペースシャワーネットワーク	1	1	2	1*

* 各社公表見通し×当社損益取込比率

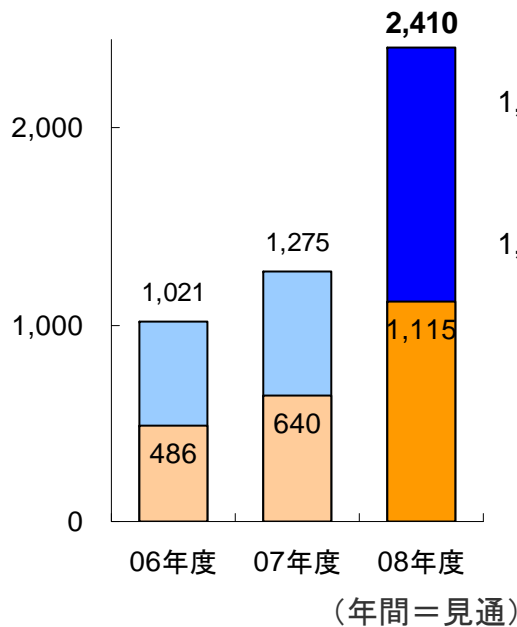
** 決算公表前につき非開示

(※単位：億円)

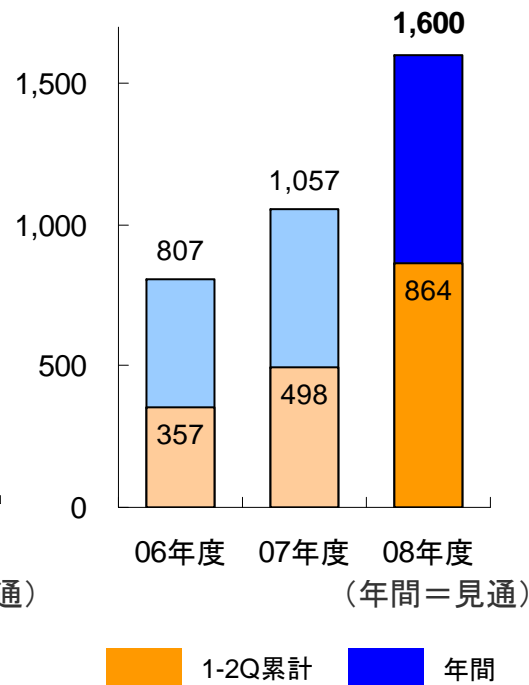
セグメント別情報：金属・エネルギー



売上総利益



当期純利益



1-2Q累計決算概略

(当期純利益内訳)	1-2Q累計		年間	
	(07)	(08)	(07)	(08)
金属	231	630	559	1,058
エネルギー	268	234	498	542

主要事業会社等取込損益

	1-2Q累計		年間	
	(07)	(08)	(07)	(08)
ITOCHU Minerals & Energy of Australia	138	515	385	911
(鉄鉱石)	(104)	(286)	(238)	(500)
(石炭)	(26)	(248)	(135)	(435)
(アルミナ)	(8)	(4)	(16)	(10)
伊藤忠丸紅鉄鋼	82	101	169	150
ITOCHU Oil Exploration(Azerbaijan)	160	117	334	217
LNG配当(税前)	73	107	128	→

原油(ブレント)価格

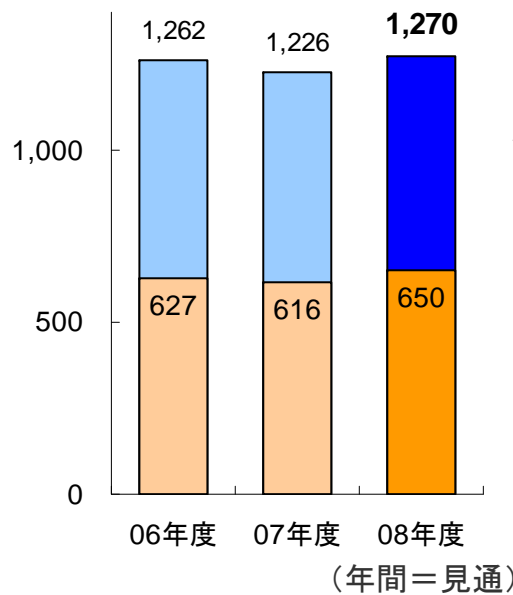
(US\$/バレル)	1-2Q累計		年間	
	(07)	(08)	(07)	(08)
期中平均	\$64	\$110	\$73	\$105

(※単位:億円)

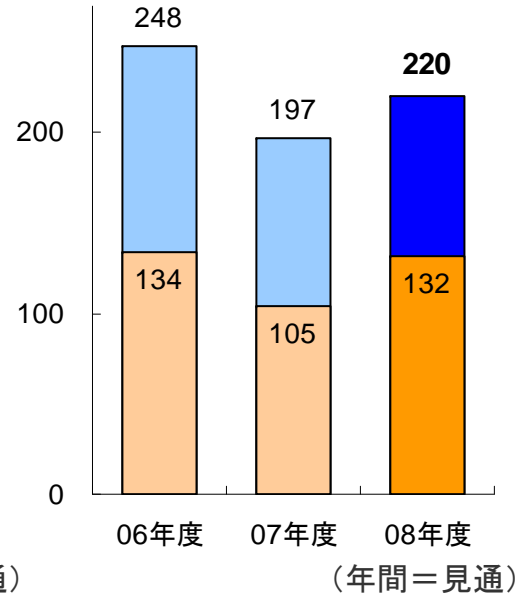
セグメント別情報：生活資材・化学品



売上総利益



当期純利益



1-2Q累計 年間

1-2Q累計決算概略

(当期純利益内訳)	1-2Q累計		年間	
	(07)	(08)	(07)	(08)
生活資材	28	59	83	110
化学品	76	73	114	110

主要事業会社取込損益

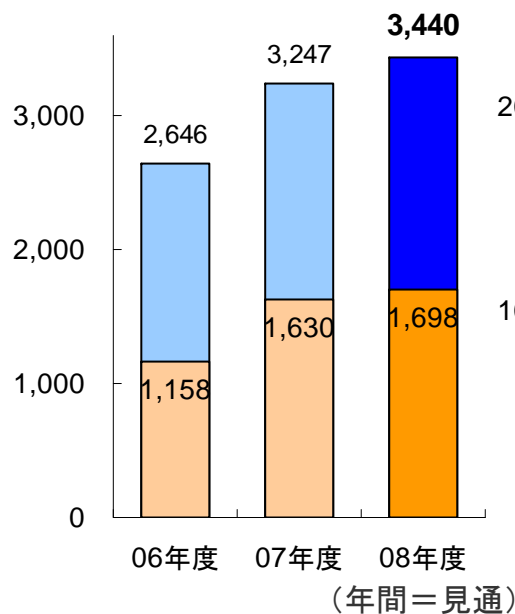
	1-2Q累計		年間	
	(07)	(08)	(07)	(08)
PrimeSource Building Products	24	39	64	↗
伊藤忠建材	3	3	3	7
伊藤忠ケミカルフロンティア	8	9	18	18
伊藤忠プラスチック	16	12	31	31

(※単位：億円)

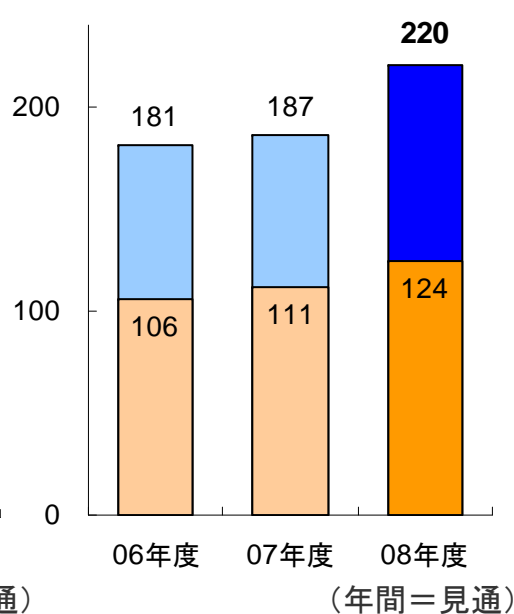
セグメント別情報：食料



売上総利益



当期純利益



1-2Q累計 (orange) 年間 (blue)

1-2Q累計決算概略

【1-2Q累計】

食料原料、食品流通関連での取扱い増加により増益。

【年間】

上期に引き続いて事業会社業績好調等により前年比増益見込み。

主要事業会社取込損益

	1-2Q累計		年間	
	(07)	(08)	(07)	(08)
ファミリーマート	30	35	49	58*
吉野家ホールディングス	3	0	1	0*
イー・アイ・ビバレッジ ホールディング	12	10	17	↗

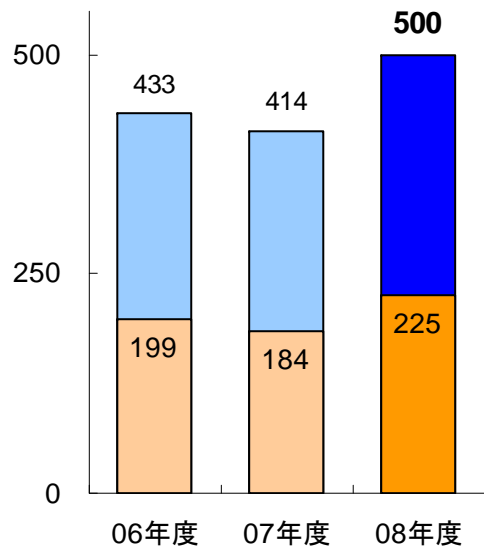
* 各社公表見通し×当社損益取込比率

(※単位：億円)

セグメント別情報：金融・不動産・保険・物流

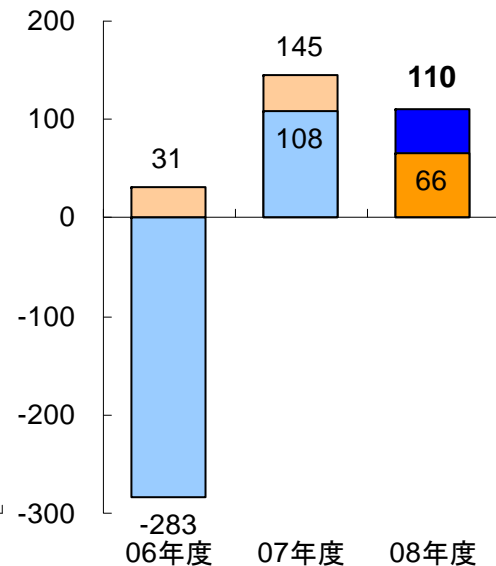


売上総利益



(年間=見通)

当期純利益



(年間=見通)

■ 1-2Q累計 ■ 年間

1-2Q累計決算概略

(当期純利益内訳)	1-2Q累計		年間	
	(07)	(08)	(07)	(08)
建設・不動産	△25	28	△22	50
金融・保険・物流	170	38	130	60
(オリコ特殊要因)	154	—	154	—
(その他)	16	38	△24	60

主要事業会社取込損益

	1-2Q累計		年間	
	(07)	(08)	(07)	(08)
伊藤忠都市開発	△71	10	△44	23
伊藤忠ファイナンス	1	4	△70	1
FXプライム	3	6	7	7*
オリエンコーポレーション	157	45	193	**
アイ・ロジステクス	5	1	7	4*

* 各社公表見通し×当社損益取込比率

** (各社公表見通し×当社損益取込比率)にて計算される数値と実際の取込損益との間に乖離が生じる場合があるため非開示

(※単位:億円)

1. 決算概況 (1-2Q累計)

2. セグメント別情報
(1-2Q累計・年間見通し)

3. 2008年度年間見通しサマリー

4. Frontier+ 2008 重要施策
(LINEs・海外事業損益・投資計画)

5. 補足資料 (四半期業績推移)

2008年度前提条件



市況価格の前提

	2007年度	2008年度				(参考) 下期の市況変動による 連結純利益に与えるインパクト
	実績	期初計画	1-2Q実績	3-4Q見通	年間見通	
為替(円 / US\$)	116	100	105	95	100	約△7億円(1円の円高)
金利(%) TIBOR(¥)	0.8%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	約△3億円(1%の金利上昇)
原油価格(\$ / バレル)*	73	84	110	100	105	約0.5~1億円(1\$/バレルの変動)
鉄鉱石粉鉱(\$ / トン)*	50	85	90		90	} 限定的
鉄鉱石塊鉱(\$ / トン)*	66	112	129		129	
強粘結炭(\$ / トン)*	98	300	300		300	
一般炭(\$ / トン)*	55	125	125		125	

* : 原油はブレント原油。鉄鉱石、強粘結炭、一般炭は対日ベンチマーク価格

原油・天然ガス・鉄鉱石・石炭数量

	2007年度実績	2008年度計画
原油・天然ガス取分数量**	57,200バレル/日	46,600バレル/日
鉄鉱石持分生産能力数量	9百万トン	10百万トン
石炭持分生産能力数量	9百万トン	9百万トン

** : 前提となる原油価格:2008年度\$84/バレル 天然ガスは6,000cf = 1/バレル にて換算。

2008年度計画及び見通し



2007年度実績及び2008年度計画及び見通し

	2007年度 (実績)	2008年度 (期初計画)	2008年度 (見通し)
連結純利益	2,186	2,400	2,400
連結総資産	52,554	58,000	58,000
ネットDER	1.7倍	1.6倍	1.6倍
ROE	23.3%	22.2%	22.2%

Frontier+ 2008 当初計画

	2007年度	2008年度
連結純利益	2,100	2,100
連結総資産	58,000	63,000
ネットDER	1.7倍	1.7倍以下
ROE	21.3%	

(※単位:億円)

セグメント別純利益 通期見通し



	2008年度 1-2Q累計	2008年度 期初計画	2008年度 見通し	期初計画比 増減	進捗率	2007年度 実績
繊維	132	220	260	+ 40	51%	205
機械	37	230	110	△ 120	34%	226
宇宙・情報・マルチメディア	19	170	100	△ 70	19%	146
金属・エネルギー	864	1,280	1,600	+ 320	54%	1,057
生活資材・化学品	132	220	220	0	60%	197
食料	124	220	220	0	56%	187
金融・不動産・保険・物流	66	130	110	△ 20	60%	108
その他及び修正消去	17	△ 70	△ 220	△ 150	—	60
連結純利益	1,392	2,400	2,400	0	58%	2,186

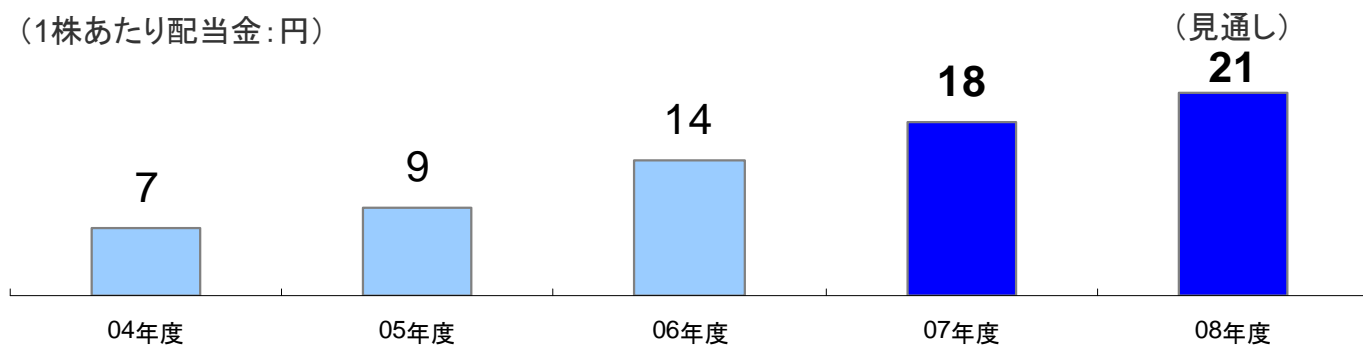
(※単位:億円)

配当の基本方針

当社は、成長戦略推進に向けた内部留保による株主資本の充実、会社競争力の維持・強化を図るとともに、株主配当金につきましては、業績も勘案のうえ、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針としております。Frontier+ 2008 期間においては、単体株主資本の充実も図りつつ、株主配当額を段階的に引上げ、連結配当性向の向上を目指すこととしており、2008年度配当についても、この方針を継続することと致します。

2008年度の利益配分について

当年度の中間配当として1株につき10.5円を実施いたします。なお、期末における1株当たり配当金につきましては10.5円(中間配当金と合わせ年間 21円)を予定しております。



1. 決算概況 (1-2Q累計)

2. セグメント別情報
(1-2Q累計・年間見通し)

3. 2008年度年間見通しサマリー

4. Frontier+ 2008 重要施策
(LINEs・海外事業損益・投資計画)

5. 補足資料 (四半期業績推移)

Frontier+ 2008

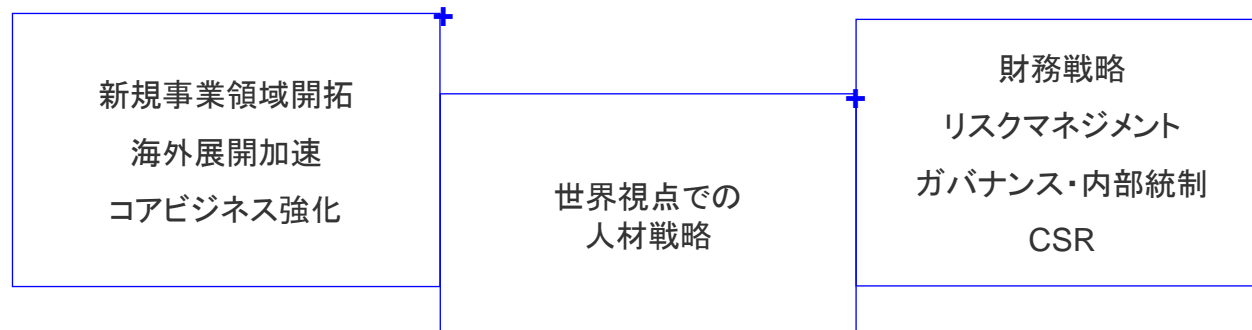
～世界企業を目指し、挑む～

基本方針

Frontier-2006 のコンセプトを受け継ぎ、「攻め」を強めるとともに、「全てのステークホルダーにとって魅力溢れる世界企業」を目指す。

- 【世界視点】 世界で収益を上げる、真のグローバル展開
- 【新たに創る】 変化を捉え、挑み、新たな分野を切り拓く
- 【人材力を磨く】 世界に人材を求め、育て、活かす

重要施策



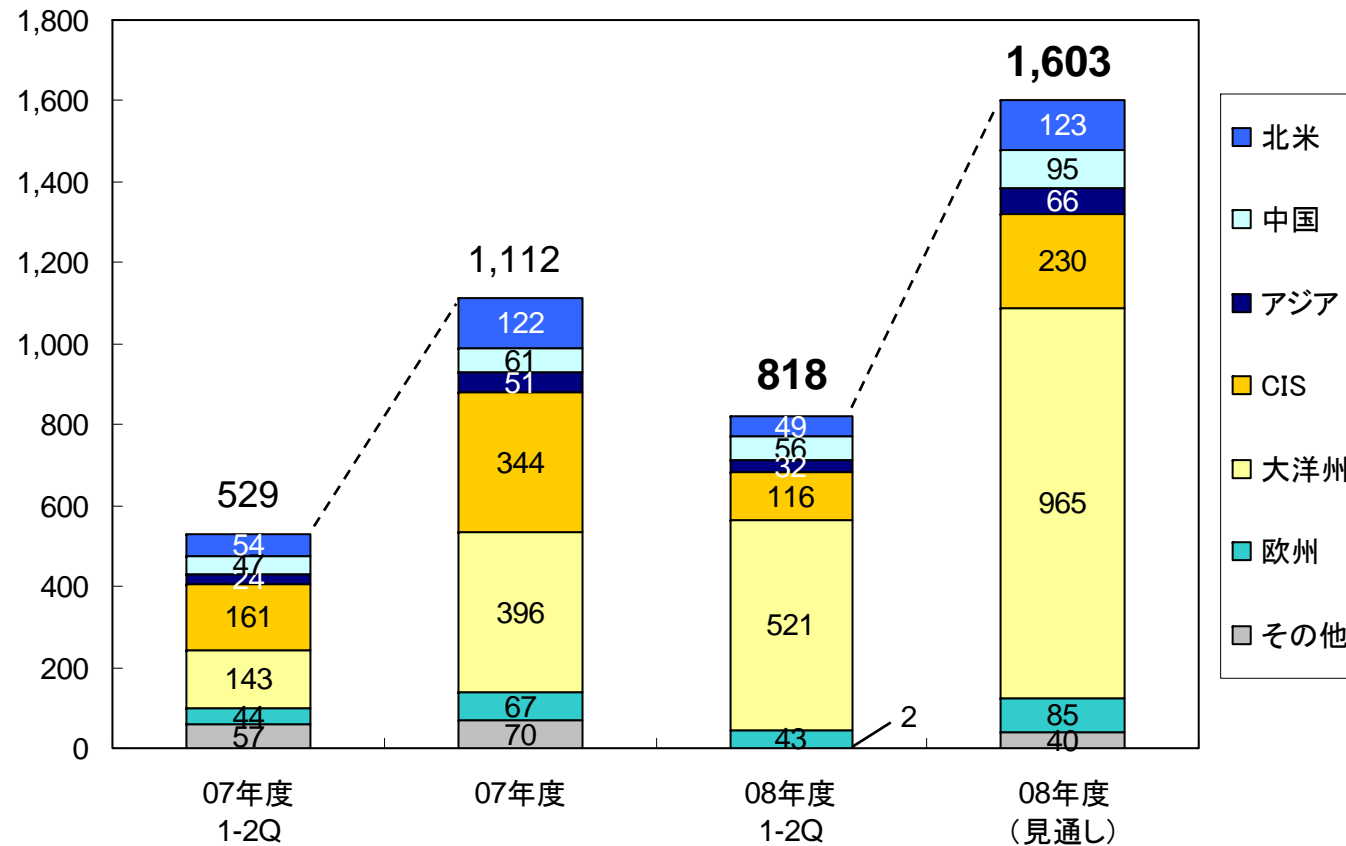
未来の収益を支えるL-I-N-E-s

✓ Frontier+ 2008の2年間で500億円の投資を計画。



海外事業損益*の拡大

- ✓ 大洋州の資源開発関連事業を中心に海外事業損益拡大。
- ✓ 海外事業損益比率は、2008年度1-2Q実績は約59%。2008年度では約67%となる見通し。



*海外事業損益=海外現地法人・支店 + 海外事業 (実質海外事業含む)

(※単位:億円)

Frontier+ 2008投資計画及び2008年度1-2Q実績

- ✓ Frontier+ 2008期間中(2年間)に5,000億円(グロス)、4,000億円(ネット)程度の投資を予定。
- ✓ 2008年度1-2Qは1,400億円(グロス)、1,200億円(ネット)の投資実行。
- ✓ 2007年度から2008年度2Q末までに累計で3,900億円(グロス)、2,500億円(ネット)の投資実行。

2008年度1-2Q 投資の概況

分野	投資額 (Frontier+ 2008期間累計)	2008年度1-2Q主要投資案件
生活消費関連	約200億円 (約700億円)	北米住宅資材関連事業買収 デサント社追加出資 等
資源エネルギー関連	約400億円 (約1,300億円)	メキシコ湾における石油・ガス権益買収・開発投資 豪州資源・エネルギー関連事業拡張投資 等
その他の分野	約800億円 (約1,900億円)	国内携帯電話事業営業権の取得 国内自動車ディーラー追加出資 国内医療機器関連会社への出資 等

2008年度 年間見通し

- ✓ 1-2Q以降は大型案件(ブラジル鉄鉱石権益取得等)もあり、2008年度の投資額は期初計画を上回る見込み。

1. 決算概況 (1-2Q累計)

2. セグメント別情報
(1-2Q累計・年間見通し)

3. 2008年度年間見通しサマリー

4. Frontier+ 2008 重要施策
(LINEs・海外事業損益・投資計画)

5. 補足資料 (四半期業績推移)

2008年度第2四半期(3ヶ月)経営成績サマリー(1)



- ✓ 当期純利益は第2四半期の利益として過去最高となる766億円。
- ✓ 金属・エネルギー、金融・不動産・保険・物流セグメントで前年同期比大幅増益。

	08 2Q (3ヶ月)	07 2Q (3ヶ月)	増減
売上総利益	2,943	2,557	+ 386
営業利益	961	717	+ 244
税引前利益	932	709	+ 223
持分法投資損益	160	△ 122	+ 281
当期純利益	766	311	+ 454

実態利益	1,241	585	+ 656
------	--------------	------------	--------------

(セグメント別純利益内訳)	08 2Q (3ヶ月)	07 2Q (3ヶ月)	増減
繊維	34	45	△ 11
機械	27	102	△ 75
宇宙・情報・マルチメディア	10	26	△ 16
金属・エネルギー	541	284	+ 257
生活資材・化学品	80	58	+ 22
食料	68	67	+ 1
金融・不動産・保険・物流	43	△ 225	+ 268
その他及び修正消去	△ 37	△ 46	+ 9
当期純利益	766	311	+ 454

(※単位:億円)

2008年度第2四半期(3ヶ月)経営成績サマリー(2)



- ✓ 資源価格の上昇等により第1四半期比139億円の増益。
- ✓ 第1四半期に特別利益があった繊維セグメントを除き全営業セグメントで増益。

	08 2Q (3ヶ月)	08 1Q (3ヶ月)	増減
売上総利益	2,943	2,479	+ 465
営業利益	961	683	+ 278
税引前利益	932	762	+ 170
持分法投資損益	160	189	△ 29
当期純利益	766	626	+ 139
実態利益	1,241	909	+ 332

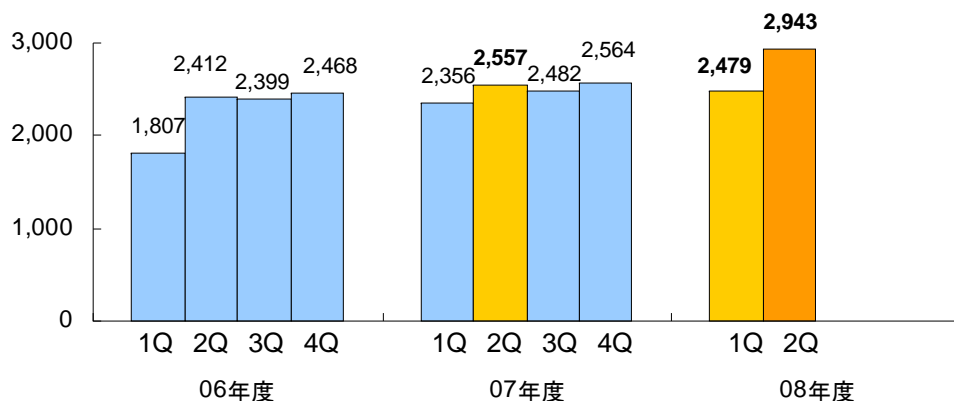
(セグメント別純利益内訳)	08 2Q (3ヶ月)	08 1Q (3ヶ月)	増減
繊維	34	98	△ 64
機械	27	10	+ 17
宇宙・情報・マルチメディア	10	9	+ 1
金属・エネルギー	541	323	+ 218
生活資材・化学品	80	52	+ 28
食料	68	57	+ 11
金融・不動産・保険・物流	43	23	+ 21
その他及び修正消去	△ 37	54	△ 92
当期純利益	766	626	+ 139

(※単位:億円)

2008年度第2四半期(3ヶ月): 全社



[売上総利益]



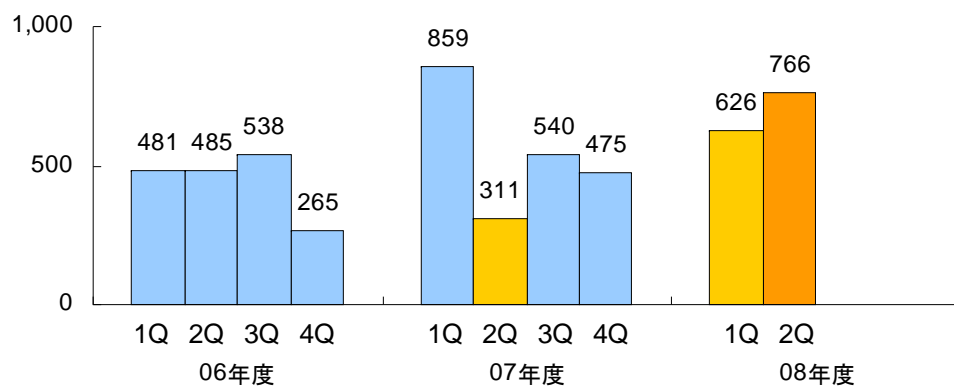
【07年度2Q(3ヶ月)対比 : 2,557億円→2,943億円】

複数の子会社が連結対象外となった繊維等で減益となったものの、金属資源・エネルギー価格上昇に加え、鉄鉱石販売価格の新価格の遡及適用等により386億円の増益。

【08年度1Q(3ヶ月)対比 : 2,479億円→2,943億円】

鉄鉱石販売価格に係わる新価格遡及適用、食品流通関連事業での取扱増加等により465億円の増益。

[純利益]



【07年度2Q(3ヶ月)対比 : 311億円→766億円】

金属・エネルギーの売上総利益増益、前年同期の金融事業関連評価損の反動等により454億円の増益。

【08年度1Q(3ヶ月)対比 : 626億円→766億円】

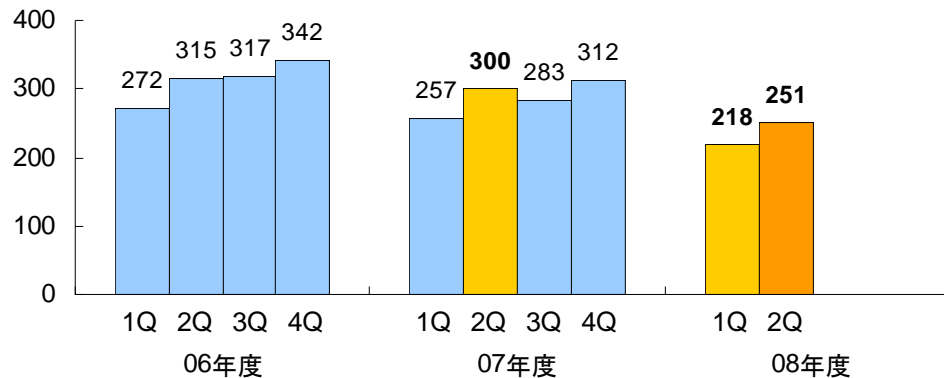
繊維セグメントにおける第1四半期の資産入替に伴う一過性の利益の反動があるものの、金属・エネルギーセグメントにおける売上総利益の増加により139億円の増益。

(※単位:億円)

2008年度第2四半期(3ヶ月): 繊維



[売上総利益]



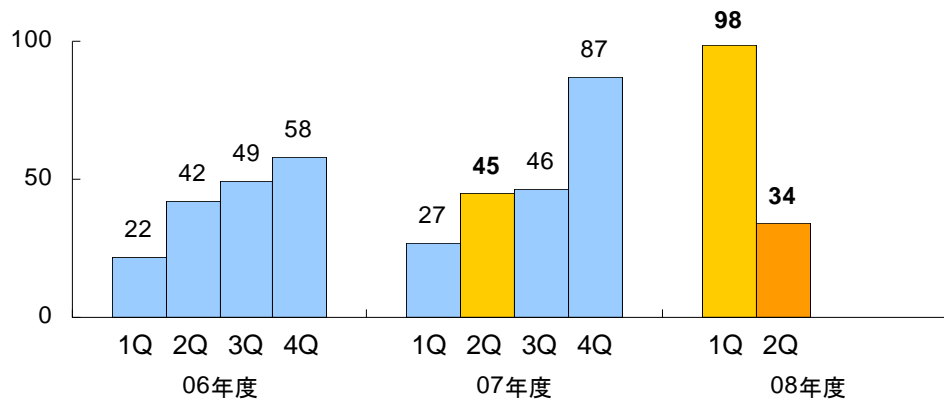
【07年度2Q(3ヶ月)対比 : 300億円→251億円】

資産入替に伴い複数の子会社が連結除外になったこと等により49億円の減益。

【08年度1Q(3ヶ月)対比 : 218億円→251億円】

秋物商戦本格化により33億円の増益。

[純利益]



【07年度2Q(3ヶ月)対比 : 45億円→34億円】

前年同期にあった投資有価証券売却益の反動等により11億円の減益。

【08年度1Q(3ヶ月)対比 : 98億円→34億円】

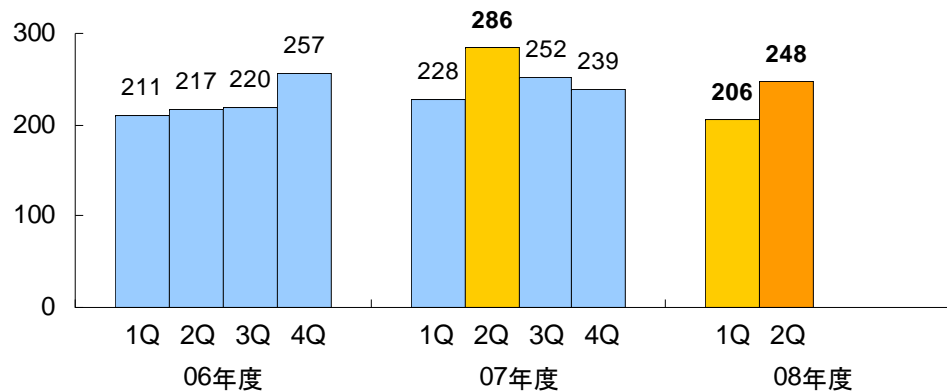
資産入替に伴う一過性の利益等が第1四半期に集中したことの反動により64億円の減益。

(※単位:億円)

2008年度第2四半期(3ヶ月): 機械



[売上総利益]



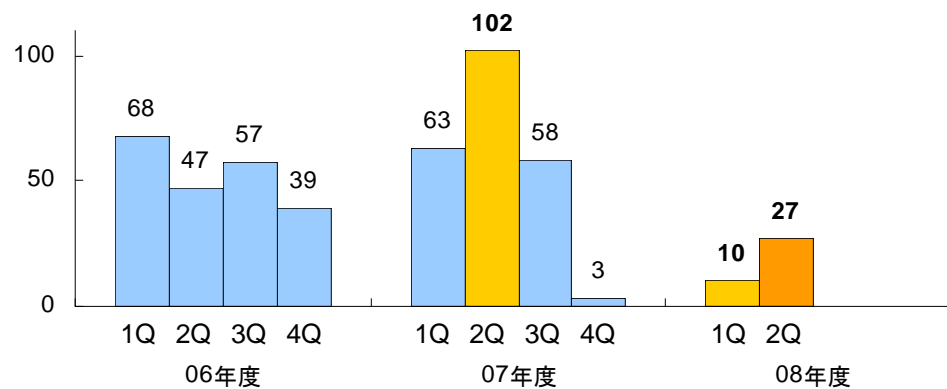
【07年度2Q(3ヶ月)対比 : 286億円→248億円】

船舶取引増加するも米国市場低迷による自動車・建機事業の不調により37億円の減益。

【08年度1Q(3ヶ月)対比 : 206億円→248億円】

船舶取引好調により43億円の増益。

[純利益]



【07年度2Q(3ヶ月)対比 : 102億円→27億円】

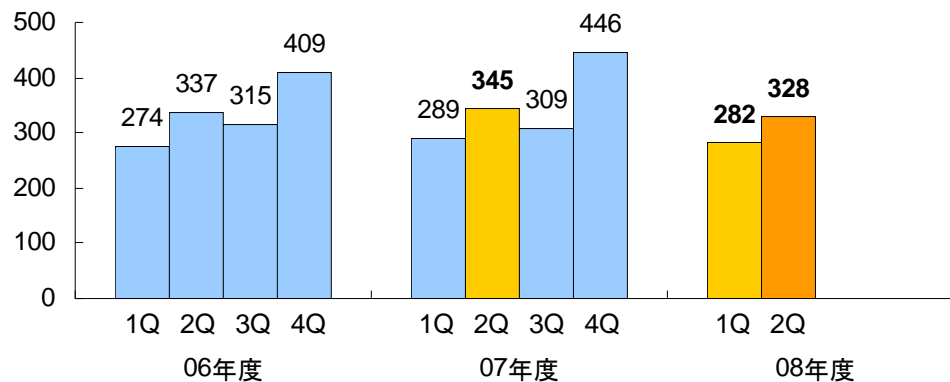
売上総利益の減少に加え、モンゴル向け債権に係わる貸倒引当金の繰入もあり75億円の大幅減益

【08年度1Q(3ヶ月)対比 : 10億円→27億円】

モンゴル向け債権に係わる貸倒引当金の繰入あるも、船舶取引及び新興国向け自動車取引が引き続き好調に推移、加えて第1四半期に発生した上場株式の減損の反動等により17億円の増益。

(※単位:億円)

[売上総利益]



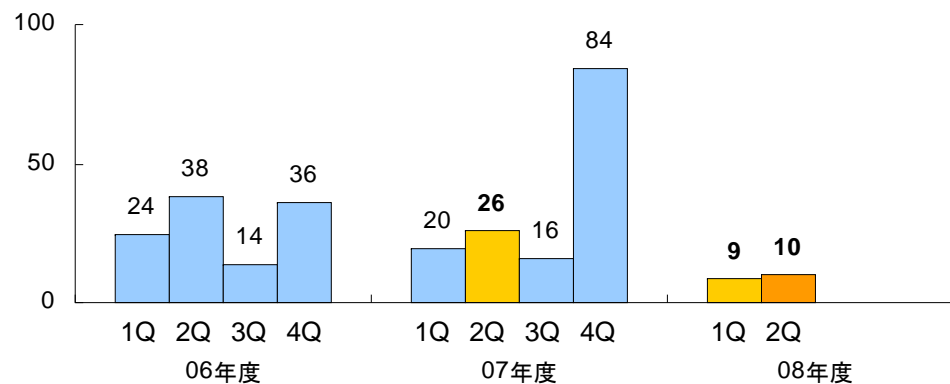
【07年度2Q(3ヶ月)対比 : 345億円→328億円】

国内携帯電話販売事業の増益あるも、国内情報産業関連事業不調により16億円の減益。

【08年度1Q(3ヶ月)対比 : 282億円→328億円】

9月末に向けた国内情報関連事業の売上増等による46億円の増益。

[純利益]



【07年度2Q(3ヶ月)対比 : 26億円→10億円】

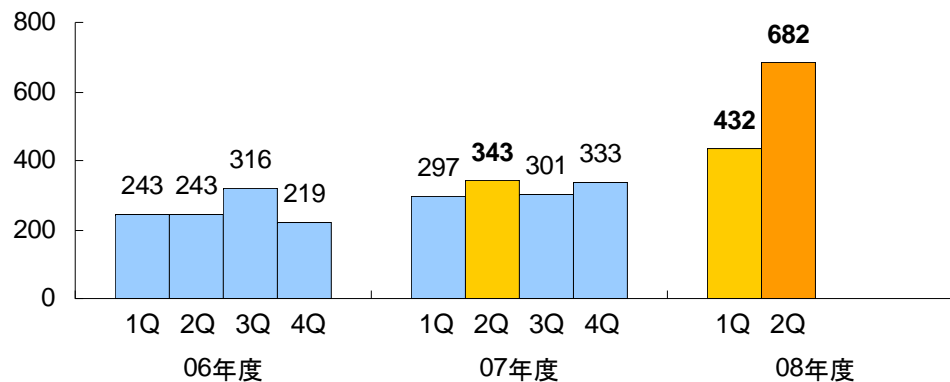
売上総利益の減少に加え、投資有価証券損益の減少等により16億円の減益。

【08年度1Q(3ヶ月)対比 : 9億円→10億円】

売上総利益の増加があるも第1四半期の有価証券売却益の反動等あり、ほぼ横ばい(1億円の増益)。

(※単位:億円)

[売上総利益]



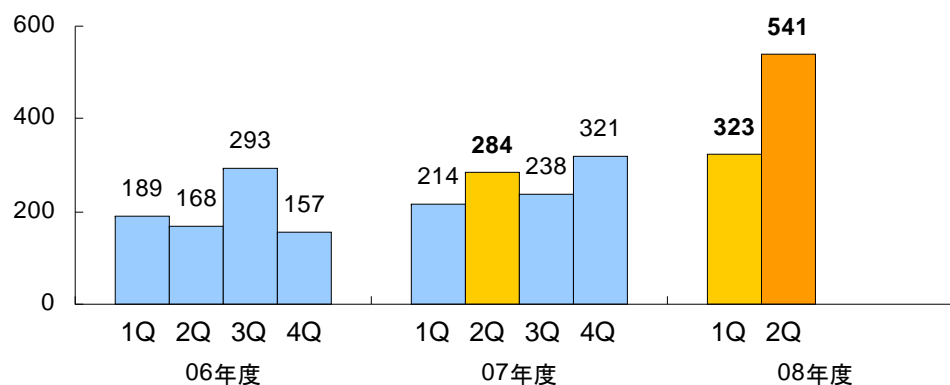
【07年2Q(3ヶ月)対比 : 343億円→682億円】

金属資源・エネルギー価格上昇及び鉄鉱石販売数量の増加に加え、鉄鉱石販売に係わる新価格の遡及適用により339億円の増益。

【08年1Q(3ヶ月)対比 : 432億円→682億円】

金属資源・エネルギー価格上昇及び鉄鉱石販売数量の増加に加え、鉄鉱石販売に係わる新価格の遡及適用により250億円の増益。

[純利益]



【07年2Q(3ヶ月)対比 : 284億円→541億円】

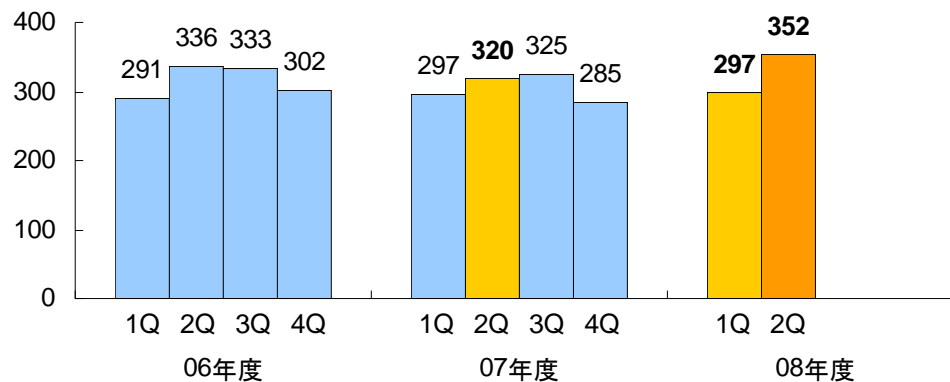
売上総利益の増加に加え、LNG関連の受取配当金の増加及び持分法投資損益の増加により257億円の大幅増益。

【08年1Q(3ヶ月)対比 : 323億円→541億円】

売上総利益の増加に加え、持分法投資損益の増加等により218億円の大幅増益。

(※単位:億円)

[売上総利益]



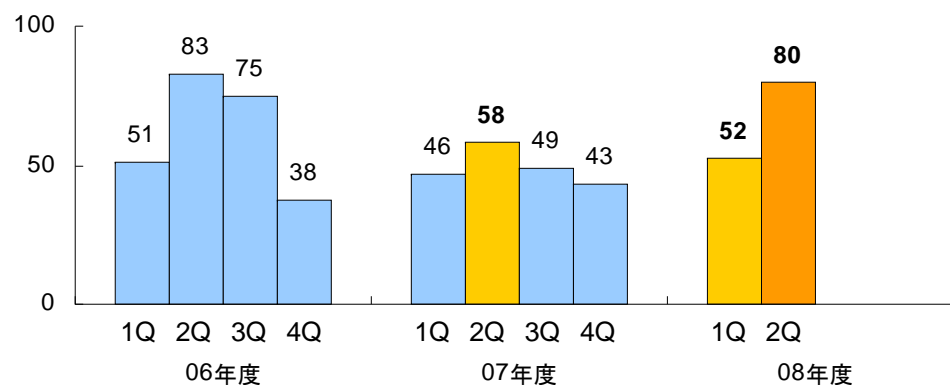
【07年2Q(3ヶ月)対比 : 320億円→352億円】

化学品価格が高値で推移したことに加え、北米住宅資材関連事業の堅調推移により32億円の増益。

【08年1Q(3ヶ月)対比 : 297億円→352億円】

住宅資材関連事業・タイヤ関連事業等の季節的要因により55億円の増益。

[純利益]



【07年2Q(3ヶ月)対比 : 58億円→80億円】

売上総利益の増加に加え、前年同期にあったタイヤ関連事業の減損の反動等により22億円の増益。

【08年1Q(3ヶ月)対比 : 52億円→80億円】

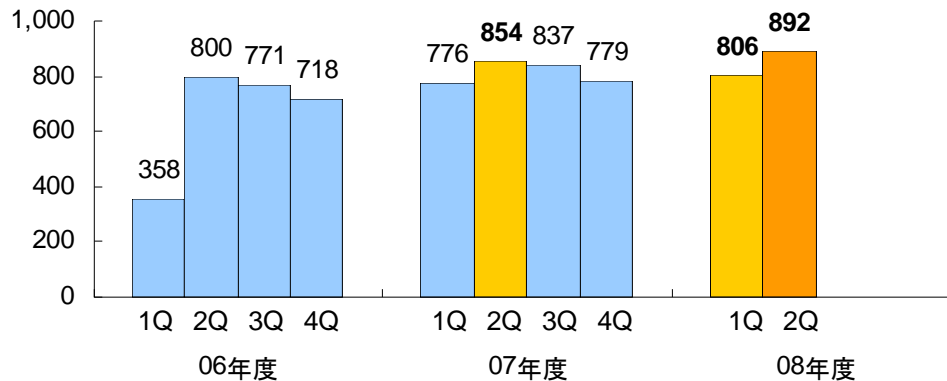
住宅資材関連事業・タイヤ関連事業等の季節的要因による売上総利益及び純利益の28億円の増益。

(※単位:億円)

2008年度第2四半期(3ヶ月): 食料



[売上総利益]



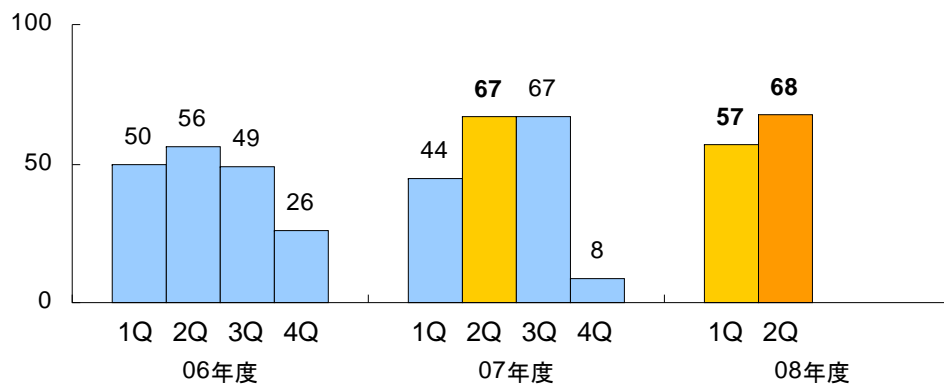
【07年2Q(3ヶ月)対比 : 854億円→892億円】

食料原料、食品流通関連での取扱増加により39億円の増益。

【08年1Q(3ヶ月)対比 : 806億円→892億円】

食品流通関連事業での取扱増加及び季節性要因により86億円の増益。

[純利益]



【07年2Q(3ヶ月)対比 : 67億円→68億円】

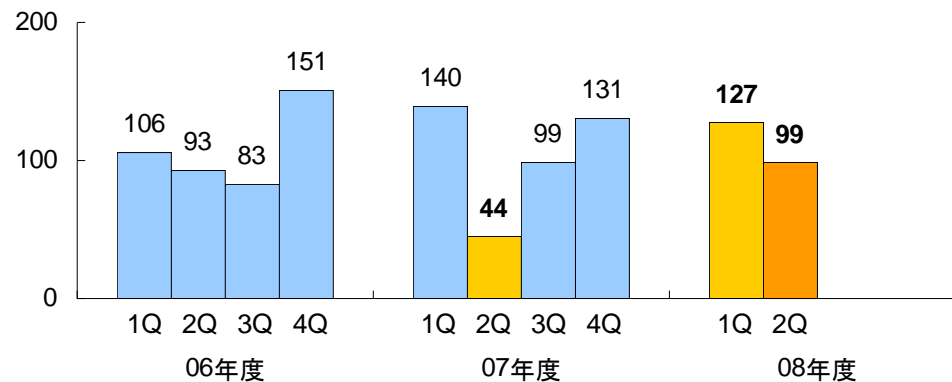
前年同期の有価証券売却益の反動あるも売上総利益の増加に加え、持分法投資損益の増加がありほぼ横ばい(1億円の増益)。

【08年1Q(3ヶ月)対比 : 57億円→68億円】

食品流通関連事業での取扱増加及び季節性要因による11億円の増益。

(※単位:億円)

[売上総利益]



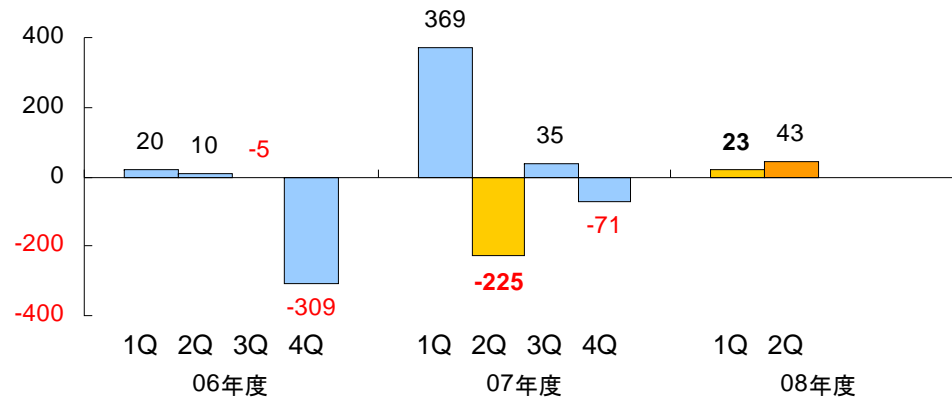
【07年度2Q(3ヶ月)対比 : 44億円→99億円】

前年同期の長期開発用不動産に係わる評価損計上の反動により54億円の増益。

【08年度1Q(3ヶ月)対比 : 127億円→99億円】

第1四半期にあった大型マンション分譲案件の引渡し反動により28億円の減益。

[純利益]



【07年度2Q(3ヶ月)対比 : Δ 225億円→43億円】

売上総利益の増加に加え前年同期の金融関連事業の評価損の反動等により268億円の大幅増益。

【08年度1Q(3ヶ月)対比 : 23億円→43億円】

売上総利益の減少あるも証券化事業及び海外不動産の売却、加えて中華圏を対象としたファンドの保有資産売却益に伴う受取配当金の増加等により21億円の増益。

(※単位:億円)

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている伊藤忠商事の計画・戦略・見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な期待・見積り・予想に基づいています。これらの期待・見積り・予想は、経済情勢の変化・為替レートの変動・競争環境の変化・係争中及び将来の訴訟の結果・調達資金や金融商品・財源の継続的な有用性など多くの潜在的リスク・不確実な要素・仮定の影響を受けますので、実際の業績は見通しから大きく異なる可能性があります。従って、これらの将来予測に関する記述に全面的に依拠することは差し控えるようお願いいたします。また、伊藤忠商事は新しい情報・将来の出来事等に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。

※本資料の一部あるいは全体の複製および無断転載を禁じます。

ITOCHU
ITOCHU